

2020年5月27日

海外の山小屋再開事情

【スイス】

(スイス アルパイン クラブの <https://www.sac-cas.ch/de/covid> の発信内容を訳して紹介します)

2020年5月11日から、山小屋が営業を再開、山小屋業界コンセプトを公開しました。これは、山小屋滞在に関するリスク評価が基本となっています。このコンセプトの最終的な目標は、新型コロナウイルスの拡大を抑制または防止し、小屋の営業者（スタッフ）と登山者を感染からまもることです。

小屋の事情はそれぞれ異なる為、予防対策の構想も異なります。まずは、小屋に収容可能な客数を決定します。

スイス（および近隣諸国）のすべての山小屋では、次の基本ルールが登山者に適用されます。

- 健康な状態でのみ小屋を利用する。
- 事前予約のみの宿泊。
- 持参するもの：寝袋、枕カバー、消毒剤、タオル、必要に応じてマスク。
- ゴミを持ち帰る。

「もちろん、山小屋は完全に以前に戻ることはできません。山小屋による感染対策の責任ある実施と、利用する登山者による指針の厳守を行うことで、2020年夏にスイスの山小屋への訪問を妨げるものは何ともありません。」5月13日、スイス アルパイン クラブの理事会は、宿泊税と消費税について、今年は無税を決定しました。

注釈：スイスでは、アルパインクラブが多くの山小屋を営業しています。



(2010年9月 スイス、アローラにて)

【ドイツ】

(ドイツアルパインクラブの5月14日発信。)

段階的な山小屋再開

- 5月18日～屋外施設のみ
- 5月25日～屋内施設利用可能
- 5月30日～宿泊可能

登山者が知っておくべきこと

- 基本的には、平地同様に、手洗い、ソーシャルディスタンス、接触に関する制限を適用。
- 通路と座席に印をつけて、全ての客の動きを規制、スタッフの指示にも従うこと。
- 小屋のスタッフは、全ての客の連絡先の詳細を記録し、緊急時に感染経路を追跡できるようにする。
- 全てのエリアにおいて、人との最短距離は1.5mを保つ（食堂、立ち上がったたり座ったりするとき、廊下、部屋の全て。例外は、互いに接触を許可されている人々のみ。）
- 小屋は健康な状態でのみ訪れる
- 口と鼻の保護は必須です(屋内と屋外の両方) バフやスカーフで十分。
- 多くの小屋は、ソーシャルディスタンスの規制により、座席数を大幅に減らす必要があり、人気の小屋では、（食事など）待ち時間が長くなる。
- ハイカーは、小屋で食事等ができない場合に備え、十分な飲食物を用意する。

【オーストリア】

- 5月15日～昼間の営業再開,
- 5月29日～宿泊再開。以上。